

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約2.5億円
		特定交通安全施設等整備事業 (一)物部養父線	朝来市和田山町枚田	うち用地補償費	約0.65億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
朝来市和田山町枚田				平成19年度	平成22年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・ 自転車利用者、歩行者交通量が多く、枚田小学校・幼稚園の通学・通園路である当路線において、自転車歩行者道の拡幅整備を行い、交通安全対策を推進する。また、法面の落石対策も併せて行い、自転車・歩行者の安全を確保する。			自歩道整備(片側) L = 7 0 0 m W = 3 . 0 m (3 . 5) m 現 況 W = 1 . 0 ~ 1 . 5 m (歩道有) (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車3,650台/日、歩行者219人/日、自転車59台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(3件)が発生している。 ・死傷事故率(172人/億台km) ・当区間は福祉のまちづくり重点地区(JR和田山駅周辺地区)へのアクセス道路であり、バリアフリーに配慮した歩道整備が必要である。 ・当区間は枚田小学校・和田山幼稚園の通学・通園路に指定されており、多数の児童・園児が通学・通園を行っている。 また、和田山中学校の生徒が通学に利用している。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道拡幅の必要性と法面の落石対策等が提案されている。 ・近隣には、JR和田山駅・朝来市役所・県総合庁舎等の公共施設や保健所・老人福祉施設等の福祉施設があり、多様な交通環境にある。 ・道路法面からの落石が多く、道路防災総点検では落石危険箇所指定されているため、法面の落石対策も必要である。 ・現況歩道がW = 1 . 5 ~ 1 . 0 mと狭いため、冬期の除雪時には除雪の堆雪により自転車・歩行者が車道を通行するため危険であり、歩道拡幅の必要性が高い。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。 ・通学路確保に加えて、法面对策により、落石危険箇所の防災対策となる。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。 ・法面工では、緑化工法を採用することで環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、幼稚園の通学路に指定されているが、現況歩道幅員が狭く、朝夕の通勤通学時には、歩行者と自転車利用者が輻輳するなど車道へのはみ出し交通が発生し危険な状況にある。 ・落石危険箇所であり、自転車歩行者の安全上、早急な法面对策が必要である。 				